

せつぞん通信 グリーンロード

札幌病院広報誌
第17号
2022年1月発行

児童デイサービスって？

《社会性をはぐくむ仲間の輪》

コパンの杜 統括責任者 作業療法士 荻野明日香

「ここ数年、「児童デイサービス」の看板、よく見かけませんか？
子供のデイサービス？ どんな子供が通うの？ 児童会館とは
違うの？ 有効に利用していただくために、そんなギモンにお答
えします。」



実は、「児童デイ」という言葉を使
うサービスは…ないので！一般的
にいう「児童デイ」とは、児童福祉法
による障害児通所支援の中の「児童
発達支援」と「放課後等デイサービ
ス」の総称として使用されることが
多いようです。

「児童発達支援」には、0歳から6
歳までの未就学のお子さんが通い
ます（一部例外あり）。また、「放課
後等デイサービス」は、小学生以上
から18歳までのお子さんが放課後
に通う通所支援です。



利用するきっかけは？

札幌病院には児童デイサービスコパンの杜（銭函・コパンの杜北22（札幌市
北区）があります。「コパン」はフランス語で「仲間・友だち」という意味。小学校
に上がる前のお子さんの（社会性を育てるみんなの杜）です。「お友達と仲良
く遊べない」「ほかの子から乱暴だといわれる」「園で集団行動ができない」「な
んとなく不器用」「言葉がおそい」など保護者が「周りの子と比べてウチの子、
ちよつと違うかも？」という思いからの利用が多いかと思えます。子供の発達
や療育の専門家である保育士・作業療法士が在籍しているので、行動の要因
を評価して支援の必要性等を見極めます。保護者の方が孤立して悩むこと
のないよう…。

どんな関わりをするの？

札幌病院で長く取り組んできた感覚統合のノウハウを生かした遊びを展
開、個別の評価と治療プログラムにより子どもたちの「いま」「ちよつど」の成
長を促しています。例えば：「気持ちが落ち着かず、お友達をすぐにたたいて
しまうので、園でうまく過こせない」というお子さんには、落ち着かない理由、
たたく理由の評価をします。感覚の捉えにくさで、本人はお友達に「触れてい
るだけなのに、相手には「たたいた」とらえられてしまう力加減の問題があ
れば、感覚統合プログラムをしながら、感覚入力のアプローチを改善し
ていきます。※感覚統合療法は、子どもの学習、行動、情緒、社会的発達を脳における感覚
間の統合という視点で分析し、治療的介入を行うものです。（日本感覚統合協会ホームページより）

変われますか？

プログラムが進み、園や家庭で怒られる頻度が減ると、
自然と気持ちが落ち着いてくることはよくあります。「コパ
ン」では「困った子」の支援をしているわけではありません。
その子自身が集団の中で自然に「困っている子」に寄り添
い、支援をしています。「コパン」を巣立って社会に出ていく
の時に、本人や家族が前を向き、豊かな生活を送れている
ことを願って、「コパン」は毎日楽しく療育をしています。



当院のホームページがご覧
いただける QR コードです

発行：医療法人ひまわり会札幌病院 広報部
小樽市銭函3丁目298 Tel.0134-62-5851



ひまわりのエール



肌が乾燥する季節です。肌のお手入れ、
ポイントは清潔・保湿・保護ですよ!

1 洗浄 ～清潔に～

バリア機能が低下した肌は外からの刺激を受けやすくなっているため、刺激物や感染源を除去する「洗浄」が必要です。赤ちゃんや高齢の方でおむつ等をつけている場合は、おむつ交換や入浴時、こすらず丁寧に洗浄しましょう。

2 保湿 ～しっとり～

皮膚の水分量を補うためのケアが「保湿」です。保湿クリームを塗ることで、角質層の水分バランスが整います。かゆみによるかきむしりを予防するためにも、定期的に塗ると良いでしょう。

《クリームの種類》

保湿系：普通の乾燥肌に毎日使えます。

尿素系：手荒れがひどくて硬くなった皮膚を柔らかくします。傷にしめることがあります。

ビタミン系：ひびやあかぎれがある方はしみないのでこちらがいい。血行促進作用あり。(朝日新聞 2021.12.10より)

3 保護 ～守る～

洗浄・保湿した皮膚をさらに刺激から守るために「保護」が必要です。おむつかぶれを予防するには、撥水性の保護クリームが効果的です。水仕事の前に塗るハンドクリームのCM、ご覧になったことありませんか？水をはじくアレです！かぶれている部分だけでなく、広範囲に塗りましょう。刺激にさらされているお肌に優しい“手当”を！ (主任看護師 手塚栄美)

新型コロナワクチン3回目接種について

札幌病院ホームページ「お知らせ」に小樽市からの通達を載せています。2回目接種日から8ヵ月以上経過した方に順次「接種券」が送付されます。当院での日程等は決まり次第ホームページでご案内します。

通所支援の利用方法は？

通所支援に通うためには「障害児通所支援受給者証」というものが必要になります。まずはお住まいの市区町村もしくは相談支援事業所にご相談ください。乳幼児健診の時に保健師さんに相談したり、医療機関に相談したりして利用に至るお子さんが多いですね。

小樽市では障害児通所支援事業所は15か所程ですが、お隣札幌市では、数えきれないほどの事業所があります。(児童数に対する事業所数の多さは日本一です)。取り組みは様々で、学習支援に力を入れているところもあれば、運動プログラムに特化したところもありますし、社会性を身に付けることを重視しているところもあります。それぞれの特徴に合わせて、保護者と相談支援員などが相談しながら利用する事業所を決めていきます。

メディカルコラム

ナースのお仕事 ～身体障害者病棟編～

身体障害者病棟師長 笠谷 恵里子

この病棟はパーキンソン病や脳神経系の難病など、進行性の疾病が大半を占めます。辛い治療やリハビリに耐え、病気に立ち向かう患者さんの支えになること、日々奮闘しております。

起き上がる、歩く、食べる、トイレに行く、会話をする…昨日できたことが

今日はできない、体の自由が少ずつ失われていく…私たちは残された機能を最大限に活かせる支援をします。「できないわ」「やっつて」「自信をなくし、何もしたくなくなる方も多いです。できることや楽な方法を見つける、できたら一緒に達成感！まだできるんだよ！安堵する瞬間が明日への意欲につながっているのでは、と思う場面がいくつもあるのです。

患者さんが病気を「自分のこと」として受け入れられるまで長い時間が必要です。思いを聴き、本音を受け止めることは私たちの重要な役割だと考えています。最期までその人らしさをめいっぱい発揮できるように…私たちの目標です。ご家族にも、想像を絶する苦悶や葛藤があります。大切な家族が病気になることで生活は大きく変わったはずですが、安心して任せていただけるようにご家族との対話も大切にしています。コロナ禍で面会ができず、お互い不安でしょう。日々収束を祈るばかりです。

